

ピアレビュー委員会 (第1部会)

2022年度(対象:2019-2021年度)ピアレビュー報告書(案)

評価対象組織	工学研究科
--------	-------

基準1	理念・目的
-----	-------

総評

- 0101 「修了認定・学位授与に関する基本的な方針(DP)及び教育の実施に関する基本的な方針(CP)の適切性を必要に応じて専攻会議で確認している。」とあるが、『課題事項』には「研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的との関連性がやや不明確」と記述されており、問題がある可能性が認められた。この点について質問したところ、再検討の結果、改善の必要がないことが確認されたため、この記述を取り下げることとなった。
- 0101 工学研究科・専攻の教育研究上の目的および育成すべき技術者像は大学・工学研究科ホームページ、学生便覧で公開されており、大学の基本理念、使命、教育目的を反映している[0101a] [0101b] [0101c pp. ①-②]。また、それらの内容の適切性を必要に応じて専攻会議で確認している。
- 0102 大学院進学説明会(4年生対象)等において、研究科が求める人材を明確にし、大学院進学への動機付けを行っている。

長所・特色

- 0101 工学研究科・専攻の教育研究上の目的および育成すべき技術者像は大学・工学研究科ホームページ、学生便覧で公開されており、大学の基本理念、使命、教育目的を反映している[0101a] [0101b] [0101c pp. ①-②]。また、それらの内容の適切性を必要に応じて専攻会議で確認している。
- 0102 大学院進学説明会(4年生対象)等において、研究科が求める人材を明確にし、大学院進学への動機付けを行っている。

留意点

- *各項に留意点レベルを記入
- 【A】・・・緊急の改善を要する事項
【B】・・・検討を要する事項

特になし。

根拠資料No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

2022年度(対象:2019-2021年度)ピアレビュー報告書(案)

評価対象組織	工学研究科
--------	-------

基準2	内部質保証
-----	-------

総評	
0203	応用化学専攻では毎年10月頃に企業や高校の先生と学科および専攻で、アドバイザー会議を開催し、専攻の内容について現状を報告して、学外の関係者(学科OB、高校の教員、民間企業の技術者など数名)から意見を聞いている。また、その議事録を専攻の会議で報告している[0203d][0203e]。
0203	教育活動顕彰制度各賞受賞者によるFD講演会[0203f]を工学部・工学研究科において実施し、大学全体および学部・研究科で評価された模範的・先進的教育方法を配信等も用いて共有している。
0203	情報工学専攻では、FD活動の一環として、授業評価の結果から改善すべき点を専攻内でFD会議を開催、検討している[0203g]。また、中部大学OBの意見を聞く機会を設けている[0203h]。
0203	内部質保証のための全学的な方針に基づき[0203a]、大学全体としての自己点検・評価[0203b]、工学研究科・専攻における自己点検・評価、および個々の教職員による自己点検・評価[0203c]を行っているが、各専攻内における内部質保証システムの在り方についての議論は十分に進んでおらず、改善が求められる。
長所・特色	
0203	応用化学専攻では毎年10月頃に企業や高校の先生と学科および専攻で、アドバイザー会議を開催し、専攻の内容について現状を報告して、学外の関係者(学科OB、高校の教員、民間企業の技術者など数名)から意見を聞いている。また、その議事録を専攻の会議で報告している[0203d][0203e]。
0203	教育活動顕彰制度各賞受賞者によるFD講演会[0203f]を工学部・工学研究科において実施し、大学全体および学部・研究科で評価された模範的・先進的教育方法を配信等も用いて共有している。
0203	情報工学専攻では、FD活動の一環として、授業評価の結果から改善すべき点を専攻内でFD会議を開催、検討している[0203g]。また、中部大学OBの意見を聞く機会を設けている[0203h]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0203	内部質保証のための全学的な方針に基づき[0203a]、大学全体としての自己点検・評価[0203b]、工学研究科・専攻における自己点検・評価、および個々の教職員による自己点検・評価[0203c]を行っているが、各専攻内における内部質保証システムの在り方についての議論は十分に進んでおらず、改善が求められる。【B】

根拠資料No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学研究科
--------	-------

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

総評	
0501	学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた入学者受け入れの方針(AP)を設定し、大学のホームページ[0401b]で公表しているが、具体的な能力水準まで含めた入学者受け入れの方針 (AP) の検討が望まれる。
0502	入学者受け入れの方針 (AP) と入試形態の整合性、教育課程編成・実施の方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関性に関する検証と改善が望まれる。
0502	秋学期入学[0502b]にも対応し、海外の学術交流協定機関からの入学希望者に対し事前審査制度[0502c]を設けている。
0504	社会人大学院博士後期課程学生の受け入れにより収容定員を確保している。
長所・特色	
0502	秋学期入学[0502b]にも対応し、海外の学術交流協定機関からの入学希望者に対し事前審査制度[0502c]を設けている。
0504	社会人大学院博士後期課程学生の受け入れにより収容定員を確保している。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0501	学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた入学者受け入れの方針(AP)を設定し、大学のホームページ[0401b]で公表しているが、具体的な能力水準まで含めた入学者受け入れの方針 (AP) の検討が望まれる。【B】
0502	入学者受け入れの方針 (AP) と入試形態の整合性、教育課程編成・実施の方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関性に関する検証と改善が望まれる。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学研究科
--------	-------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

総評	
0802	教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実については、中長期予算票および学部等重点計画案を策定し、学長ヒアリングを受け、施設・設備の充実に向けた検討と設備更新を各専攻に依頼している [0802a][0802b]。
0802	実際の予算配分状況により既存施設の点検に基づく老朽化施設、設備の計画的な更新が十分にされておらず、改善が求められる。
0806	covid-19 感染予防対策のため外部資金を確保し大学院生の実験室をレンタルした [0806d]。ヒアリングにより自己点検・評価シートでは、「居室」と記載されているが、「実験室」である旨、確認がされている。
0806	各専攻会議での教員からの意見聴取、卒業時アンケート、安全管理委員会 (TK) などにより、教育研究等環境の適切性について自己点検を行っている [0806a] [0806b] [0806c]。
0806	教育研究等環境に関して、適切に自己点検・評価を実施し、適切に改善・向上に取り組もうとしているが、実際の予算配分状況により改善すべき余地がある。
長所・特色	
0802	教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実については、中長期予算票および学部等重点計画案を策定し、学長ヒアリングを受け、施設・設備の充実に向けた検討と設備更新を各専攻に依頼している [0802a][0802b]。
0806	covid-19 感染予防対策のため外部資金を確保し大学院生の実験室をレンタルした [0806d]。
0806	各専攻会議での教員からの意見聴取、卒業時アンケート、安全管理委員会 (TK) などにより、教育研究等環境の適切性について自己点検を行っている [0806a] [0806b] [0806c]。
留意点	
* 各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0802	実際の予算配分状況により既存施設の点検に基づく老朽化施設、設備の計画的な更新が十分にされておらず、改善が求められる。【B】
0806	教育研究等環境に関して、適切に自己点検・評価を実施し、適切に改善・向上に取り組んでいるが、実際の予算配分状況により改善すべき余地がある。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0806	d	スペースチャージ申請書	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学研究科
--------	-------

基準 9	社会連携・社会貢献
------	-----------

総評
<p>0902 教員の学会活動、企業との共同研究、デジタルブック「研究紹介」公開により各教員の研究の社会連携、社会貢献ができています。[0902a]</p> <p>0902 産業技術総合研究所・中部センターとの継続的な連携大学院事業、中部センター研究者による大学院の授業担当、学部生・院生の受け入れによる卒業研究・修士研究の実施と、学科教員との共同研究などの地域交流が適切に行われている。[0902b][0902c]</p> <p>0902 コロナ禍においても海外学術交流協定校からの留学生を受け入れている。[0502c]</p> <p>0902 社会連携・社会貢献に関する活動が各教員の自主的努力に依存しており、状況の把握を組織として充分に行い得ているとは言えない点について検討が必要である。</p>
長所・特色
<p>0902 教員の学会活動、企業との共同研究、デジタルブック「研究紹介」公開により各教員の研究の社会連携、社会貢献ができています。[0902a]</p> <p>0902 産業技術総合研究所・中部センターとの継続的な連携大学院事業、中部センター研究者による大学院の授業担当、学部生・院生の受け入れによる卒業研究・修士研究の実施と、学科教員との共同研究などの地域交流が適切に行われている。[0902b][0902c]</p> <p>0902 コロナ禍においても海外学術交流協定校からの留学生を受け入れている。[0502c]</p>
留意点
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="margin-left: 100px;">【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p style="margin-left: 100px;">【B】・・・検討を要する事項</p>
<p>0902 社会連携・社会貢献に関する活動が各教員の自主的努力に依存しており、状況の把握を組織として充分に行い得ているとは言えない点について検討が必要である。【B】</p>

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学研究科
--------	-------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評	
1120	工学研究科委員会、工学研究科専攻主任会等の定例会議は年度始めに年間開催日程を学部教授会で周知し、工学部教職員専用ホームページでも公開している [1120a]。
1120	大学院研究科委員会における会議資料のペーパーレス化を推進するとともに、事前にデジタル化した資料を全構成員に配信する取り組みを行った。
1120	研究科委員会終了後に議事録 [1120b] を作成し、構成員に確認のうえ起案・配信している。
1120	工学研究科専攻主任会で必要に応じて教育研究活動の検証を行うとともに、適切に議事録を作成し、構成員に確認のうえ起案・配信している [0403b]。
長所・特色	
1120	工学研究科委員会、工学研究科専攻主任会等の定例会議は年度始めに年間開催日程を学部教授会で周知し、工学部教職員専用ホームページでも公開している [1120a]。
1120	大学院研究科委員会における会議資料のペーパーレス化を推進するとともに、事前にデジタル化した資料を全構成員に配信する取り組みを行った。
1120	研究科委員会終了後に議事録 [1120b] を作成し、構成員に確認のうえ起案・配信している。
1120	工学研究科専攻主任会で必要に応じて教育研究活動の検証を行うとともに、適切に議事録を作成し、構成員に確認のうえ起案・配信している [0403b]。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管